

『楽しく歩こう会』

明治8年の観測以来、最も遅い真夏日となった秋晴れの10月19日(土曜日)、並木まちづくり協議会と所沢スポーツ協会並木支部共催による『楽しく歩こう会』が開催されました。

まちづくりセンターをスタートし、多聞院を経て、三芳町上富の早川農園で芋掘り体験をし、往復8km程を歩くという催しです。

早川農園のある上富地区は、江戸時代より一軒の地割が5ヘクタールという、縦長の区割りになっていて、先ず屋敷地があり、そして畑地、その先に平地林という雑木林がある農地になっています。この雑木林の落ち葉を掃き集め、1~2年醗酵させたものを、堆肥として利用して来たことから、滋養豊富な柔らかな土壌を持ち、令和5年に関東初の『世界農業遺産』に認定されています。そのみならず、生物の多様性、景観、文化にも影響を与えた、素晴らしい地域なのだそうです。



出発前にラジオ体操で体をほぐして

そのような事を学びつつ、芋掘りを体験しました。最近では経験する機会が減多にない畑作業に、さつま芋の大きな塊を掘り当てたときは心が躍りました。



さつま芋掘りに夢中



大きなさつま芋



世界農業遺産を歩く

ゴール地点のまちづくりセンターに戻り、親父の会手作りの栄養も味も完璧な「すいとん」をご馳走になると、一日の疲れが吹き飛びました。そして足取りも軽く、収穫した大きなさつま芋を手に戻りました。

本当に楽しかった秋の歩こう会。企画して下さった多数の関係各位のご尽力に、心から御礼を申し上げます。